

はじめに

平成3年度の業務概要と調査研究を取りまとめ、所報第17号としてお届けいたします。所員一同一年間の努力の結集であります。ご高覧のうえ、ご教示をいただければ幸いに存じます。

当所は先に策定した「福岡市保健環境研究所（仮称）拡充整備基本構想」及び「拡充整備計画」に基づき、新研究所の平成9年度オープンをめざし、目下準備中であります。

福岡市の桑原敬一市長は本年7月、「保健環境研究所」（仮称）の基本設計を発表いたしました。現在、実施設計をすすめている段階です。

本年5月、福岡市において「地球環境と地域行動」をテーマに、世界12カ国から参加したローマ・クラブメンバーによる「ローマ・クラブ福岡会議イン九州」がアジアでは最初の地方会議として開催されました。この会議の成果は、「福岡宣言」として採択されました。

本年6月には、地球サミットで、環境と開発に関する「リオ宣言」が採択されましたが、まさにその時、福岡市においては、「環境にやさしい都市を目指す福岡市民の宣言」として「ふくおか環境元年宣言」が発表されました。

福岡市は今年を「環境元年」と位置づけており、当所としても、現状において出来る限りの努力をしてみたいと思います。

さて、当所は現在、仮庁舎において業務を行っておりますが、現在問題になっている種々の保健・環境問題に早期に着手するために、現仮庁舎の一部を改修し、拡充整備の第一歩を踏み出しました。

改修の主な点は、ウイルス・大気・環境生物等各種試験室の新增設及び最新鋭の電子顕微鏡の導入などであります。

また、平成4年度は衛生局はじめ関係当局のご理解によって、所の組織機構が一部整備されました。それは、ウイルス、大気、微量分析担当者各1名、合計3名が17年ぶりに増員され、同時に、微量分析及び環境生物担当主査のポストが新設されたことです。

このように、当所は拡充整備計画に基づき、段階的に整備がなされつつあります。

私達所員一同は、保健衛生・環境保全に対する様々な市民ニーズに可能な限り応えていくため、一段の努力を致す所存であります。

今後とも、関係各位の一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。

平成4年12月

福岡市衛生試験所長

佐藤泰敏